

南畑系導水管更新工事(埋金橋・中原橋推進)

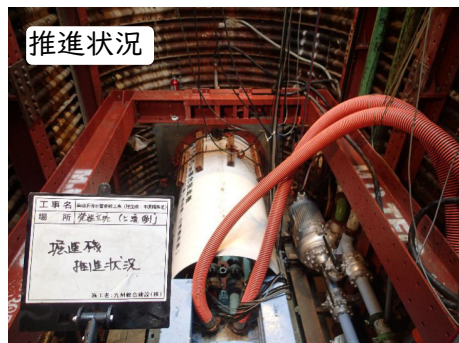
1 工事目的

老朽化した導水管（φ800mm）を耐震管で更新整備するもの。

2 工事内容

- (1)工事件名： 南畑系導水管更新工事(埋金橋・中原橋推進)
- (2)履行期間： 令和4年10月14日 ～ 令和5年12月15日
- (3)請負金額： 263,145,300円
- (4)工事内容： 管布設工 φ800mm PN形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 196.9m
管布設工 φ800mm NS形ダクタイトイル鑄鉄管 L= 21.4m
泥土圧式推進工 HP φ1000mm L= 192.0m
- (5)請負業者： 九州総合建設(株) 代表取締役社長 河本 裕一
- (6)発注課： 水道局浄水部浄水施設課

3 位置図、工事写真



4 特に顕著な事項

① 幹線道路での長期にわたる工事において事故^{ゼロ}

交通量が多い国道385号での工事であったが、毎月自主的な安全衛生協議会の開催、立坑内の事故を想定した避難訓練、夜間パトロールの実施並びに現場休憩所内に熱中症対策のためのスポットクーラー設置など、安全対策を徹底したことにより、事故なく工事を完成した。

② 安全衛生への取り組み

通学路の切り替えが必要な工事箇所について、切り回し歩道を砂利で整備予定だったが、より安全に通学できるようアスファルト舗装で整備したことや、遠隔カメラを設置し防犯対策を行うなど、安全衛生への様々な取り組みを行った。

③ 周辺環境に配慮した施工により苦情^{ゼロ}

住宅に近接する工事箇所であったが、騒音振動を抑えるため、ワイヤーソー工法での推進管の切断、セリ矢工法での転石破碎並びに重機の下に防振マットを設置などの対策を行った結果、工事による苦情がなかった。

④ 地域貢献活動の実施

那珂川市内での工事でもあったため、現場周辺の清掃や除草活動、バス停前の路肩補修など様々な地域貢献活動を行い、福岡市発注の工事のイメージアップに努めた。

①避難訓練の実施



②遠隔カメラの設置



③騒音振動対策（防振マットの設置）



④地域清掃活動への参加

